学級団結をねらいとした旅行的行事の実施

茨城県水戸市立第五中学校　教諭（学年主任）　飯野　兼一

Ⅰ．はじめに

学区の特色と学校の概要と教育目標

Ⅱ．テーマ設定の理由

本校の教育目標との関連から

Ⅲ．修学旅行までの取り組み（第１学年，第２学年の旅行的行事）

１　宿泊を伴う共同生活学習（第１学年）
＊学級別活動
＊磐梯山登山

２　船中泊を伴う自然教室（第２学年）
＊野外炊飯
＊２年生の誓い

（１）期日
（２）宿泊地
（３）主な日程
（４）成果等

Ⅳ．修学旅行

１　修学旅行に対する基本姿勢

２　教育活動計画

３　実践から

（１）　総合的な学習の時間での取り組み
＊「東大寺・奈良の大仏」
（２）　道徳での取り組み
＊「旅行的行事：修学旅行，船中泊，宿泊学習」
（３）　学級活動での取り組み
＊「修学旅行で何を学ぶか・何を身につけるか」
（４）　アンケート
＊５／２２（木）　実施
＊７／　３（木）　実施
（５）　職員連絡版の活用

Ⅴ．修学旅行の取り組み・実践

（１）　期日
（２）　宿泊地
（３）　主な日程
（４）　実践から〔感想，生徒観察（教師から），アンケート等〕

ア　学級別活動
＊京都市内学級別活動（徒歩）

イ　学級団結式
＊東本願寺山科別院

Ⅵ．まとめ・課題

テーマ

学級団結をねらいとした旅行的行事の実施

Ⅰ．はじめに

本校学区は水戸市の北西部に位置し，石川町の一部，新原，曙町，袴塚，文京，堀町，渡里町，田野町に亘る広大な地域であり，住宅地帯と農業地帯が混在しているが，現在住宅地域として著しい発展を示している。

生徒数４８５名（１年生１５７名，２年生１５７名，３年生１７１名）の中規模校である。生徒たちは明るく素直であり，学習や清掃活動にもよく取り組んでいる。また，ＰＴＡ活動が活発である。

本校の学校の教育目標は，「勉学に励み，心身ともに健康な生徒を育成する～支え合い，伸ばし合う生徒の育成～」である。学校における教育活動の中心は，毎日の授業にあり，教職員の指導力向上が重要であると考えている。生徒が自分から学習に取り組み見通しをもって活動できる指導，さらに学習の場（社会）としての学級内で居場所づくりの基本となるコミニュケーション力が修得される授業づくりを目指している。

学校の教育目標　「支え合い，伸ばし合う生徒の育成」

（１）　授業に真剣に取り組む生徒	積極的学習（授業姿勢・活動・態度）
（２）　特別活動（部活動，生徒会活動）に積極的に活動する生徒	健康管理（清潔な環境・規則正しい生活） 積極的部活動，生徒会活動
（３）　集団の決まり・ルールを守る生徒	きちんとした身なり服装，節度ある言動
（４）　係活動，当番活動の責任を果たす生徒	係活動・当番活動，行事におけるリーダーへの協力
（５）　学級の仲間とコミニュケーションできる生徒	教え合い活動

Ⅱ．テーマ設定の理由

学校の課題として，教職員の情報掌握（学年会，生徒指導部員会），校内巡回日誌記録，看護日誌などから，次のようなことがあげられた。

○　授業離脱，徘徊
○　授業への集中不十分
○　ルール違反

また，修学旅行に関しては次のことがあげられた。

○　商業ペースにのせられている（観光旅行化）
○　行事本来のねらいのそう失
○　自主性という名に隠れた指導不十分

そこで，学校生活の基盤である「学級」の生活を充実させることが課題を解決し，学校の教育目標である「支え合い，伸ばし合う生徒の育成」を達成できると考える。

そのため，旅行的行事のねらいを，事前・当日・事後の活動を通して「学級」の団結を深めることに重点をおき，修学旅行をコミニュケーション力が修得される絶好の教育活動の場としてとらえて，テーマを「学級団結をねらいとした旅行的行事の実施」とした。

Ⅲ．修学旅行までの取り組み（第１学年，第２学年の旅行的行事）

１　宿泊を伴う共同生活学習（第１学年）

（１）　期日　　平成１８年６月１６日（金）～１７日（土）

（２）　宿泊地　磐梯青少年交流の家

（３）　主な日程

１日目［１６日（金)］

- 7:30　学校集合
- 8:00　学校出発
- 9:00 ～ 15:30　学級別活動（磐城，阿武隈，会津，猪苗代方面など）
- 16:00　青少年の家入所式
- 19:00 ～ 20:30 学級別活動（創作活動，学級レク，施設内活動など）
- 22:30　就寝

＊学級別活動一覧　（別紙資料１）

２日目［１７日（土)］

- 5:30　起床
- 6:30　朝食
- 8:00　青少年の家退所式
- 9:00 ～ 14:30　磐梯山登山（八方台入口から）
- 15:00　八方台入口発
- 19:00　学校着・解散

（４）　成果等

１泊２日の行程で，貸し切りバスを利用して福島県にある磐梯青少年の家を宿泊地として実施した。「学級」の団結をねらいに，１日目はすべて学級毎の活動にした。内容は，学校出発直後から学級別活動を実施しながら宿泊地に向かった。宿泊地の夕食後は創作活動（赤ベコ，合格だるまづくり），学級レクレーションを計画した。２日目は学年全員で磐梯山登山を行った。不参加者はゼロ。参加者１６９名中１６７名が登頂できた。残り２名も８合目に当たる弘法清水までは登ることができた。長い時間を学級の仲間と共にすることで，各学級とも相互理解が深まりとても良い雰囲気で過ごすことができた。また，２日目の磐梯山登山でも随所に仲間を気遣う光景が見られた。そのことが全員参加，１６７名が登頂（残り２名も８合目まで登る）の成果となり，生徒の感想からも磐梯山登山を通して「学級」の団結が図られていることが分かる。

＊磐梯山登山の感想　　＊磐梯山登山の様子　（別紙資料２）

> 私が山で滑ったり転んだりすると「大丈夫？」という声があちこちで聞かれました。心配してくれる気持ちがとてもうれしかった。みんなで協力して登ろうという気持ちが湧いてきました。この登山を通して協力や団結が深まったと感じることができて，とても良かったと思います。

> 坂がとてもきつくて登るのは，もう無理と途中であきらめそうになりました。
> でも，周りの人ががんばっている姿を見ると，自分もがんばろうと思いました。
> 頂上に着いたときの感動は忘れられません。そして，途中であきらめずに登ってよかったと思いました。

２　船中泊を伴う自然教室（第２学年）

（１）　期日　　平成１９年　６月　１日（金）～５日（火）

（２）　宿泊地　　ひだか青少年自然の家

（３）　主な日程

【第１日】６／１（金）

体育館集合－五中発－大洗着・乗船－大洗発（船中泊）

15:00　　15:45　16:30　　18:30

【第２日】６／２（土）

苫小牧着　苫小牧発－ひだか青少年自然の家着－野外炊飯（カレーライス）

13:30　　14:00　　16:30　　17:00

（ひだか青少年自然の家泊）

【第３日】６／３（日）

ひだか青少年自然の家発－ラフティング－ひだか青少年自然の家着

8:30　　9:40　　13:30

学年レクリエーション－野外炊飯（バーベキュー）－学級の誓い

14:00　　15:30　　20:30

（ひだか青少年自然の家泊）

【第４日】６／４（月）

ひだか青少年自然の家発－札幌・小樽内学級別活動－苫小牧港着・乗船

8:30　　17:00　　18:00

【第５日】６／５（火）

大洗着　大洗発　－　五中着・解散

14:00　　14:30　　15:15

（４）　成果等（観察から）

水戸市内公立中学校の２年生は，北海道を活動場所として「船中泊を伴う自然教室」を実施している。４泊５日という長い行程のなかで，ねらいである「学級」の団結が図れるような様々な活動（野外炊飯・ラフティング・２年生の誓い・学級別活動・学級内班別活動等）を計画した。

北海道に滞在する２日間，夕食づくりを行うというこれまでにない活動を取り入れた。北海道の大自然のなかで１日目はカレーライスづくり，２日目はバーベキューづくりを行った。また，北海道最終日である３日目の夜（ひだか青少年の家）に，各学級毎に部屋や場所を借りて「２年生の誓い」を行った。修学旅行で「学級団結式」を実施することを意識して計画した。

＊　学級別活動において

ア　野外炊飯

生徒は，学級内（８～１０人：男女混合）の班を作成して食事づくりを行 った。２日間共，準備から後片づけまで入れると４～５時間かかり，多くの活動時間，労力を要したが，大いに成果はあった。自分たちでつくらないと食べられない必要感があり，お互いに協力して工夫しないとおいしくできない。わいわいガヤガヤしながらも楽しく食事づくりができた。帰りの船中で「カレーライス」が出たが，自分たちがつくったカレーの方が断然おいしいと話していた。

また，大洗から学校へ向かう帰りのバスでも野外炊飯での失敗談等を楽しそうに話していたことからも，２日間の食事づくりは「学級」の団結を深めることができた。

イ　２年生の誓い

内容については，２年生に進級してからの自分の生活・勉強などを反省して，今後自分が目標にしたいことや学級の仲間にお願いしたいことをしおりに書かせて，発表し合った。３日間共に協力して過ごしてきたという共有感や連帯感，北海道最終日であるという感傷的な気分もあってか，しみじみと語り合うことができた。　（別紙資料３）

【船中泊を通して，成果として考えられること】（職員反省：学年通信掲載より）

□　時間を守った行動ができた。
諸活動の集合時間に遅れる生徒は皆無。
ひだか最終日。清掃や寝具点検を行い，青少年の家を出発した時刻は８：３０ピッタリ！
小樽の学級内班別活動でも，各学級ともに全員が集合時刻を守ることができた。

□　約束事が守れた。
大きなトラブルや問題は見られなかった。
持ち物についてもほとんどの生徒が守れた。
ただし，一部に携帯電話，ＤＳ，MD，ガムなどを持参していた生徒がいた。

□　「VerryGood」カードを配れる生徒１００人！
係活動や行動面で，自主的によく働いたり動いたりする姿が見られた。
ひだか最終日の朝の清掃，寝具点検は完璧！キビキビと動いていた生徒が多く見られた。
先生たちの「○○さんにも『VerryGood』カードをあげよう」が日が経つにつれて増えた。

ただ，４泊５日という長い時間を共に過ごすことだけでなく，「学級」の団結を図れるような活動を中心に計画，手だてをすることによって，予想以上の成果が得られた。える。また，好ましい人間関係づくりが行われ，個人としても集団としても，約束やルールを守ろうという雰囲気が生まれて規範意識の高揚が図れた。

Ⅳ．修学旅行

１　修学旅行に対する基本姿勢

教育活動個別計画（平成２０年３月作成）から

方針　・ねらいを明確にし，生徒にも明示する。
・学級団結をめざす。
・生徒同士，教師と生徒のコミニュケーションの場を設定する。

基本日程
１日目　奈良方面学級別活動
２日目　京都市内学級別活動
３日目　京都市内学級別活動

見学地選定　・共通　奈良東大寺・大仏
・宿舎を出発点として，原則として学級別に徒歩による移動をする
・見学地は歴史の教材として取り上げられた史跡を中心とする
・可能な範囲で，生徒の意見を取り入れる
・指導時数の合理化に努める（教えるべきことは，きちんと教える）

2　教育活動計画

学　　年	期　日	教科・領域名	時数	内　　容
2	2月 3月	五中タイム （総合的な学習の時間）	１０	ユニット 「東大寺・奈良の大仏」
3	4月	学級活動	6	修学旅行で何を学ぶか ・何を身につけるか方針の指導 コース決定，学級別見学地決定
		道徳	1	現実的問題を教材化した 題材 自作資料 「旅行的行事：修学旅行」
	5月	学級活動	2	事前指導，係打ち合わせ
		修学旅行当日		
		学級活動	2	アンケート１（総合評価） 修学旅行新聞
	7月	学級活動	1	アンケート２（総合評価）

3　実践

（1）　総合的な学習の時間での取り組み

総合的な学習の時間（五中タイム）を利用してユニット「東大寺・奈良の大仏」（指導計画：１０時間扱い）という自作教材を使って学習した。 内容としては，東大寺・奈良の大仏の成り立ち，時代背景や願い，作り方などについてワークシートを使用して学習した。　（別紙資料４）

また，学習のまとめとしてレポートを作成して，学級毎に発表会を開いたり掲示したりした。修学旅行に向けての意識づけや見学の際の予備知識となった。

［指導計画］

学習ユニット名：「東大寺・奈良の大仏」（１０時間扱い）			
時	学　習　内　容	時	学　習　内　容
1～2	オリエンテーション ，学習計画づくり	6	大仏のつくり方・つくった人々とその苦労
3	東大寺・大仏がつくられた時代と場所	7	仏像の種類と形，なぜつくられたか
4	仏教の歴史と仏教の日本への伝来	8～１０	レポート作成，発表
5	東大寺・大仏がつくられた時代のようすとねらい		

（２）　道徳での取り組み

本校では，「規範意識を高める道徳教育の在り方」という研究テーマのもと，実践意欲を高める授業の研究に取り組んでいる。特に，「日常生活に生じた事例」を教材化し，主に「権利と義務」について考えることができるワークシートを作成して，授業を行っている。

［自作資料：「旅行的行事・修学旅行」］ワークシートから　（別紙資料５）

出来事

まもなく，どの学年も旅行的行事が行われます。それに向けてそれぞれの学級で話し合いが始まりました。３年生のサヤカさんの学級にはお昼頃，異装・異髪で登校してきて昇降口周辺で騒いでいるケイコさんがいます。授業も集中できないぐらい騒いでいます。そのケイコさんは「修学旅行」にはいきたいと話しています。

サヤカさんは，そのことが本当だったらと思うと「修学旅行」が不安で楽しい気分にはなれません。

発問内容

○　もし，ケイコさんが「修学旅行」に参加したとしたらがどんなことが予想されますか。２通り考えて書いてみましょう。

○　ケイコさんが修学旅行に参加したら，サヤカさんの学級はどんな思いをしてしまうのでしょうか。

○　あなたの学級にケイコさんのような友だちがいたら，どんなアドバイスをしますか。書いてみましょう。

○　「修学旅行」に参加するための権利と義務とは何でしょうか。書いてみましょう。

（３）　学級活動での取り組み

「修学旅行で何を学ぶか・何を身につけるか」という題材で，修学旅行前に学級指導を行った。これまでの修学旅行で起こったことや起こりやすい事例を基にして，修学旅行での事故やトラブルについての知識や意識についてワークシートを使って学習した。また，話し合いや担任の話などから，修学旅行の意義やねらいについて再確認した。　（別紙資料６）

事例１　迷子になった。遅刻した。（集合時間に間に合わなかった）
事例２　ものを壊してしまった。
・奈良，京都の見学地　・旅館・レストラン（室内備品など）
事例３　事件を起こす，事故・事件に巻き込まれる。（生命の危険・負傷）
・一般人とのトラブル，他校生とのトラブル，交通事故，災害
事例４　ありがちな言動
・集団心理，気が大きくなる，興奮する，格好つける，見栄を張る
・まわりが見えなくなる，気をとられてしまう。

大切にしたいこと（担任の指導，話から）

・　集団で行動していること（１８１人で動く）みんなで作り上げる。
・　費用がかかっている（６万円以上，１日約２万円）
・　仲良く団結することがねらいである。（先生と生徒，生徒同士）
・　いろいろな人のおかげで行事が成り立っている。（両親, 家族, 先生, 旅行業者, その他）

（４）　アンケート

５／２２（木）実施　第３学年：１５６名回答

学級団結式について

（１）場所や雰囲気は良かったですか。

はい　８０%　　いいえ　２０%

（２）学級団結式を行い，学級の仲間と力を合わせて頑張ろうと感じましたか。

とても感じた・感じた　８９%　　あまり感じなかった・感じなかった　１１%

（３）学級団結式をもとに，修学旅行後の諸活動に対して自分がどのくらい頑張れると思いますか。

①「体育祭・合唱コンクール・グランプリレースなどの行事」

とても頑張れる・頑張れる　９６%　　厳しい・とても厳しい　４%

②「受験でお互いを思いやれること」

とても頑張れる・頑張れる　９７%　　厳しい・とても厳しい　３%

③「学校目標：心正さん・真実求めん・身体錬えん」

とても頑張れる・頑張れる　９６%　　厳しい・とても厳しい　４%

学級団結式について

◇　みんなの前で発表して，どんな気持ちになりましたか。

□発表したことを，ちゃんとやろうと思った。
□言ったからには，がんばらなくては！と思った。
□少し恥ずかしかったけれど，自分の気持ちを伝えられて良かった。
□みんなの前だから，うそはつけないと思った。
□とても緊張したが，みんな真剣に聞いてくれて良かった。

◇　他の人の発表を聞いて，どんな気持ちになりましたか。

□みんな目標をもって生活しているのだなあと思った。
□一人一人の目標を聞いて，みんなに負けないように頑張ろうと思った。
□学級のために少しでも協力してあげようという気持ちになった。
□今まであまり話さなかった人の思っていることが分かることができて良い機会だった。

７／３（木）実施　１組の集計結果：３１名回答

（1）授業の3分前着席　１9名　　（2）授業態度や教え合い活動　１７名
（3）係や給食当番などの活動　１３名　　（4）清掃活動　１２名

その他
○声を掛け合うこと　○協力できるようになった　○態度が良くなった
○準備，移動が早くなった　○あいさつが良くなった

「今後，学級の仲間と頑張ろう・協力しようと考えていること」
○合唱コンクール１９名　　○体育祭１４名　　○グランプリレース7名
○普段の授業　　○3分前着席　　○清掃活動
○中央委員の呼びかけに協力している

（5）　職員連絡版の活用　　（別紙資料７）

毎日慌ただしい学校生活のなかで，実際，気軽に会議や話し合いの時間がなかなか持てないの実情である。そこで，旅行的行事では，話し合いの時間を補うために，定期的に今後の予定，活動計画や内容，情報伝達・交換，決定事項の確認を職員連絡版を発行して共通理解を図った。また，定例の学年会での話し合いもスムーズにすすめることができた。

Ⅴ．修学旅行の取り組み・実践

（1）　期日　5月１８日（日）～２０日（火）天気：３日間曇り
スローガン
「古都の歴史を知る奈良東大寺大仏殿┆京都の街を歩いて学ぶ学級団結┆」

（2）　宿泊地　　ホテル「金波楼」
京都市中京区瀬戸屋町４６７番地　柳馬場四条上る

（3）　主な日程

１日目　奈良方面学級別活動　「１３：３０～１９：１０」

１組　京都駅 ═ 薬師寺 ═ 東大寺大仏殿（奈良公園）═ ホテル
２組　京都駅 ═ 平等院 ═ 東大寺大仏殿（奈良公園）═ ホテル
３組　京都駅 ═ 平等院 ═ 東大寺大仏殿（奈良公園）═ ホテル
４組　京都駅 ═ 平等院 ═ 東大寺大仏殿（奈良公園）═ ホテル
５組　京都駅 ═ 平等院 ═ 興福寺 ═ 東大寺大仏殿（奈良公園）═ ホテル

２日目　京都市内学級別活動　「７：４０～１７：００」

１組　ホテル…三十三間堂…清水寺…昼食…南禅寺…平安神宮…ホテル
２組　ホテル…京都御苑周辺…平安神宮…南禅寺…昼食…南禅寺…清水寺…ホテル
３組　ホテル…平安神宮…銀閣寺…南禅寺…昼食…清水寺…三十三間堂…ホテル
４組　ホテル…銀閣寺…平安神宮…南禅寺…昼食…知恩院…清水寺…ホテル
５組　ホテル…平安神宮…銀閣寺…昼食…清水寺…三十三間堂…ホテル

３日目　京都市内学級別活動　「７：５０～１３：００」

１組　　ホテル…北野天満宮…金閣寺…竜安寺…二条城…京都駅
２組　　ホテル…北野天満宮…金閣寺…竜安寺…三十三間堂…京都駅
３組　　ホテル…北野天満宮…金閣寺…竜安寺…二条城…京都駅
４組　　ホテル…北野天満宮…竜安寺…金閣寺…二条城…京都駅
５組　　ホテル…竜安寺…金閣寺…二条城…東寺…京都駅

（４）　実践から〔感想，生徒観察（教師から），アンケート等〕

３日間の活動をすべて「学級別活動」とした。
特に１日目には，総合的学習の時間に学習した東大寺・奈良の大仏を見学を入れた。

［生徒感想より］

総合的な学習の時間に学習した奈良の大仏は，想像以上に大きく驚きました。
また，修学旅行で最初に見た大仏ということもあり，僕のなかでは一番印象に残りました。
これを昔の人々が造ったと思うと，あらためて奈良時代の仏教への思いが強かったことを感じさせられました。

東大寺・奈良公園見学の様子　（別紙資料８）

ア　学級別活動（２日目）

京都市内学級別活動（徒歩）

宿舎が京都市内中央にあたる四条烏丸通りにあり，どの方面に行くにも便利であったことも徒歩で活動するのに好条件であった。東山方面を選んだ学級が多かった。

歩道は比較的空いていて混雑することもなく，他に迷惑をかけることもなかった。また，狭い路地を歩きながら，バスや電車では見過ごしてしまいそうな京都の街並み（歴史を感じる石畳，建物など）をゆっくりと見ることができた。

一緒に行動した添乗員が携帯していた万歩計で４万５千～５万歩を計測，距離に換算すると２０㎞ぐらい歩いたことになる。さすがに，宿舎に着いたときには大変疲れた様子であった。

［アンケート結果より］

◇　歩いて見た京都の街並みについて気づいたことや感想を書きなさい。

□看板や自販機が景観に合うように工夫されていた。
□道がほぼ直線だった。狭い道がたくさんあった。
□かわらの家が多かった。石の壁などが多かった。
□昔ながらの建物などを，目立たせようとして，店の看板が派手じゃなかった。
□「にらみがえし」を見つけた。
□きれいな川が多く流れていた。
□昔の建物を残しながら，京都の街を発展させようとしていることが分かった。

［生徒感想より］

「歩くことで学ぶ」
学級で歩いて，平安神宮⇒清水寺⇒知恩院を回りました。一人が遅れるとみんなが遅れる，一人が迷惑をかけるとみんなに迷惑 がかかるなど，時間を守ることを通して学級団結を学びました。また，１日歩くことがこんなにも大変であることが分かりました。

「団結深まる１日」
学級の全員と一緒に歩くことで，普段あまり話さない学級の仲間と話をしたり歩き疲れたときに励まし合ったりと，学級の団結を深めることができました。そして，小川や木々などの自然，神社や寺などの建物，昔の趣のある民家などから，古都の良さをしみじみと感じることができました。

［学級別活動の様子］　（別紙資料９）
［１組の行程］

ホテル…三十三間堂…清水寺…昼食…南禅寺…平安神宮…ホテル

ホテルから四条大橋まで全員で移動，そこで三十三間堂までの行き方と集合時間を教えて，班毎（男女別４人～６人）に移動を開始する。その後の見学地についても同様にして活動した。最初の三十三間堂では集合時間に遅れてしまった班があったが，その後は遅れる班はなかった。
集合時間を守ることや移動を主とした学級内班別活動を通して，規範意識と「学級」の団結を学ぶことができた。

イ　学級団結式（２日目の夜）

東本願寺山科別院の本堂を借りて法話（２０分）の後に学級毎に分かれて，一人一人が蝋燭を灯した厳粛な雰囲気のなかで行った。自分の決意や目標を発表し合うことで，相互理解が図られ，今後の「学級」の団結を深めるための大きな一助になったことがアンケートから分かる。また，学級の仲間との信頼関係を築くことができて，学級に対する帰属意識が高まり，修学旅行後の諸活動について，前向きな気持ちになっている生徒が多いことが分かる。実践（４）　アンケート　５／２２（木）実施

［学級団結式の様子］　（別紙資料１０）

Ⅵ. まとめ・課題

修学旅行から１ヶ月過ぎた７月に，「修学旅行で得たことが，毎日の皆さんの学級生活にどんな良い影響を与えているか」のアンケートを実施した。

実践（４）　アンケート　７／３（木）実施

修学旅行の成果が，修学旅行後も「学級」の団結や生活向上に着実に活かされていることが分かる。

また，学期末に職員間で学校評価を実施している。また，授業参観時には授業参観を通して学校の教育目標等について，保護者にアンケート回答してもらい学校評価に活かしている。

１学期末に行われた授業参観時の保護者のアンケート結果では，各項目で非常に高い評価となった。これも修学旅行の成果が，学校の教育目標である「支え合い，伸ばし生徒の育成」の達成に活かされていると考える。

［１学期学校評価］

Ａ…大変良くできた→８割以上達成　　Ｂ…どちらかというと良い→６割～８割
Ｃ…どちらかというと良くない（少し努力が必要）４割～５割
Ｄ…かなり努力が必要→３割以下

○　本校教育目標について（職員回答：２４名）

項　　目	Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ
(1) 授業・生活の評価の観点を明示しその観点に従って指導評価した。	１０	１２	１	０
(2) 部活動を計画的に運営し生徒への活動の明確化，的確な評価ができた。	９	９	５	１
(3) 生徒会活動を計画的に運営し生徒への活動の明確化，的確な評価ができた。	９	９	４	１
(4) 主となった行事（宿泊・船中泊・修学旅行）を計画的に運営し生徒への活動の明確化，的確な評価ができた。	１５	８	０	１
(5) 集団（社会・学校）の決まり，ルールについて現場指導を適切に行った。	１４	６	２	１
(6) 係活動，当番活動の現場指導と率先垂範を行った。	１４	７	２	０
(7) 学級の仲間とコミニュケーションができる場を設定した。	７	１１	３	０

［授業参観アンケート結果］　（保護者回答：３５名）

Ａ：大変思う　Ｂ：思う　Ｃ：あまり思わない　Ｄ：思わない

校　訓		項　　目	A	B	C	D
真実求めん	1	生徒は先生の話を集中して聞いている	19	12	2	0
	2	生徒はノートをきれいにとっている	15	13	0	0
	3	先生は話や説明がわかりやすい	23	10	0	0
	4	先生は板書が整っていて，わかりやすい	22	6	0	0
心正さん	1	生徒は相手に伝わるさわやかなあいさつができる	8	22	4	0
	2	生徒は服装がきちんとしている	11	2	3	0
	3	各教室は学習の場としてふさわしくきれいで整然としている	24	11	0	0
	4	授業中友達と教え合ったりお礼を言ったりする場面が見られた	13	15	4	1

学校の教育目標を達成した生徒を校訓達成者としている。校訓達成者とは，通知票「あゆみ」において，「生活と行動の記録」の項目で○（おおむね満足できる）が６つ以上（基本的な生活習慣を含む）かつ，「教科等の関心・意欲」においてＡが８つ以上の生徒としている。

達成目標としては約３０％の生徒としているが，１学期は６０％を超える生徒が校訓達成者となった。また，「生活と行動の記録」の「責任感」と「思いやり」の項目では７５％以上の生徒が達成している。このことは「学級団結」が深まり，学級に対して所属感があり，充実した学級生活を送っていることを表している。

［１学期の校訓達成者］（第３学年：１７１名在籍）

学　級	１組	２組	３組	４組	５組	計
在籍数	３４	３４	３４	３４	３５	１７１
校訓達成者数	１９	２１	２２	２０	２５	１０７
達成度（％）	５６	６２	６５	５９	７１	６３

［生活と行動の記録から］

項　目	主な判定基準	１組	２組	３組	４組	５組	計
責任感	当番活動（給食・日直・係の仕事の取り組み）の責任を果たすことができる	２５	３０	１９	２５	３１	１３０
達成度（%）		７４	８９	５９	７４	８９	７６
思いやり・協力	友達に教えてあげる。お礼を言う。 学校・学年行事への協力ができる。	２５	２９	３０	２６	２９	１３９
達成度（%）		７４	８５	８８	７６	８５	８１

「学級」の団結をねらいとして，３年間の旅行的行事の取り組みを行ってきたが，その取り組みから知識を学び，意識が芽生え，行動化に結びついたことが，学校の教育目標の達成に大きく反映していると確信できた。また，保護者のアンケート結果からも，修学旅行を通して図られた「学級」の団結が更に深まり，「学級」が生徒が自分から学習に取り組み見通しをもって活動できる学習の場となり，より良いコミニュケーションが修得される場として成り立っていることが分かり，宿泊を伴う共同生活学習（第１学年）学習から修学旅行（第３学年）までの３年間を見通した取り組みが，正しいことを確信できた。

今後の課題としては，学級別活動や学級団結式の内容を検討・工夫したり，学級内小グループを中心としたリーダーの育成・活用など，「学級」の団結が効果的に図れるような他のアプローチの仕方を考えてみても面白いと考える。

最後に，生徒たちがアンケートに答えているように，今後の諸活動や進路選択，実現に結びつくように，更に「学級」の団結が深められるように具体的な手だてを考え，支援していきたいと考えている。

資　料　集

１～１０

（資料１）

学級別活動計画一覧表

組＼時間	行程				
	9:00	10:00　11:00	12:00　13:00	14:00　15:00	16:00
1組	中郷SA 通過	10:00–11:30 アクアマリン・ふくしま	12:00–13:00 三崎公園 昼食	13:30–14:30 いわき デイクルーズ 小名浜港	青少年交流の家 到着
2組	中郷SA 通過	10:00–12:30 アクアマリン・ふくしま		13:30–15:00 入水鍾乳洞	青少年交流の家 到着
3組	中郷SA 通過	10:00–11:30 あぶくま鍾乳洞（一般コース＋探検コース）	12:20–14:00 レークサイド磐梯 昼食（磐梯） アヒルボート	14:30–15:00 世界のガラス館	青少年交流の家 到着
4組	中郷SA 通過	10:00–11:30 あぶくま鍾乳洞（一般コース＋探検コース）	13:30–15:30 鶴ヶ城・猪苗代湖 見学・散策		青少年交流の家 到着
5組	中郷SA 通過	10:00–11:00 アクアマリン・ふくしま	13:00–15:00 采樹窯（会津本郷） てびねり体験		青少年交流の家 到着

（資料２）

（資料３）

２年生の誓い

（１）「近頃の私」自己の現状（自分の生活・勉強など）をしっかりと見つめよう。

私は最近，中学生らしいとは何かと，こんなことを考えている。私の一日は，まことに中学生らしくない。小学生と同じだ。朝，母親に起こされ，ダラダラしながら登校の支度をして，朝食もろくろくかまずに食べて急いで学校へ来る。遅刻寸前。

いつか先生が「朝，登校時に，今日はこういうことをしようとか，こんなことを学んでやろうとか，その日の目的を持って学校へ来なさい」と言ったことを思い出す。とんでもない，とてもそんな気持ちにはなれない。朝の私はいつもあわてている。忘れ物も多い。宿題もやってこない。

やらなければと思うのだが，おっくうになり，「ま，いいや，みんな，やって行かないもの」と，そんなことを思ってだらだらテレビを見てしまう。テレビのないときはビデオだ。夜更かしして，朝起きられない。けじめがつかない。こんなだらしのない生活を続けているのだからいいことはない。中学生を卒業しても行きたい高校は行けないだろう。

一番悪いのはけじめがないこと。一つのことから次のことに移るのに，ダラダラしていることだ。無駄な時間が多い。

勤めに出ている母親が帰ってくると，ちょっと勉強するふりをする。でも，真剣になれない。勉強に集中できないのだ。気が散って困る。といってテレビを見ていても，テレビにも集中していない。勉強しなくちゃと思う。こんな状態の私，本当に嫌になる。こんな私は大嫌いだ。

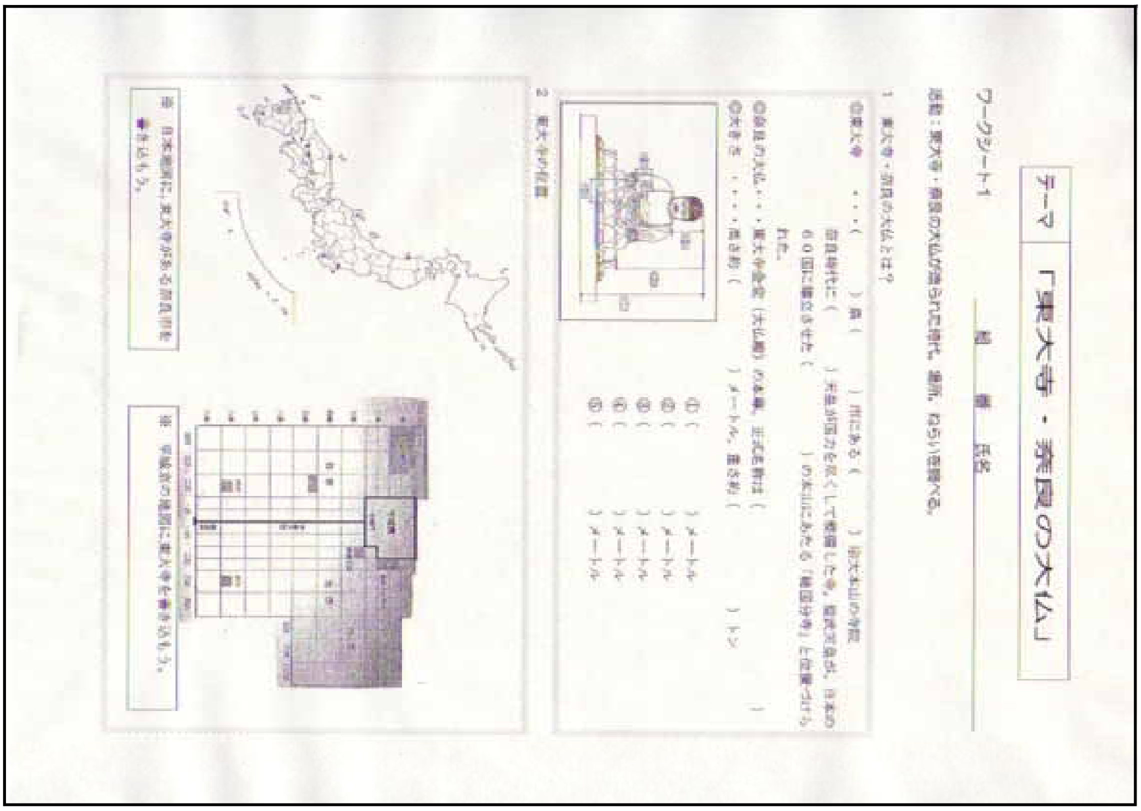
（２）「近頃の私」を振り返り，今後自分が目標にしたことを書いてみよう。

□ 毎日１時間は勉強する。
□ 夜１１：００には寝る。
□ 朝６：００に起きる。
□ 家を７：４０に出る。（遅刻しない）

（３）「目標達成」のために学級のみんなにお願いしたいことを書いてみよう。

□ 遅刻しなかったら，「よくがんばっているな」と声をかけてほしい。
□

（資料４）



テーマ　「東大寺・奈良の大仏」

ワークシート１　　組　　番　氏名

活動：東大寺・奈良の大仏が造られた時代、場所、ねらいを調べる。

1　東大寺・奈良の大仏とは？

◎東大寺　・・・（　　　）県（　　　）市にある（　　　）宗大本山の寺院
奈良時代に（　　　）天皇が国力を尽くして建立した寺。聖武天皇が、日本の６０国に建立させた（　　　）の本山にあたる「総国分寺」と位置づけられた。

◎奈良の大仏・・・東大寺金堂（大仏殿）の本尊。正式名称は（　　　）

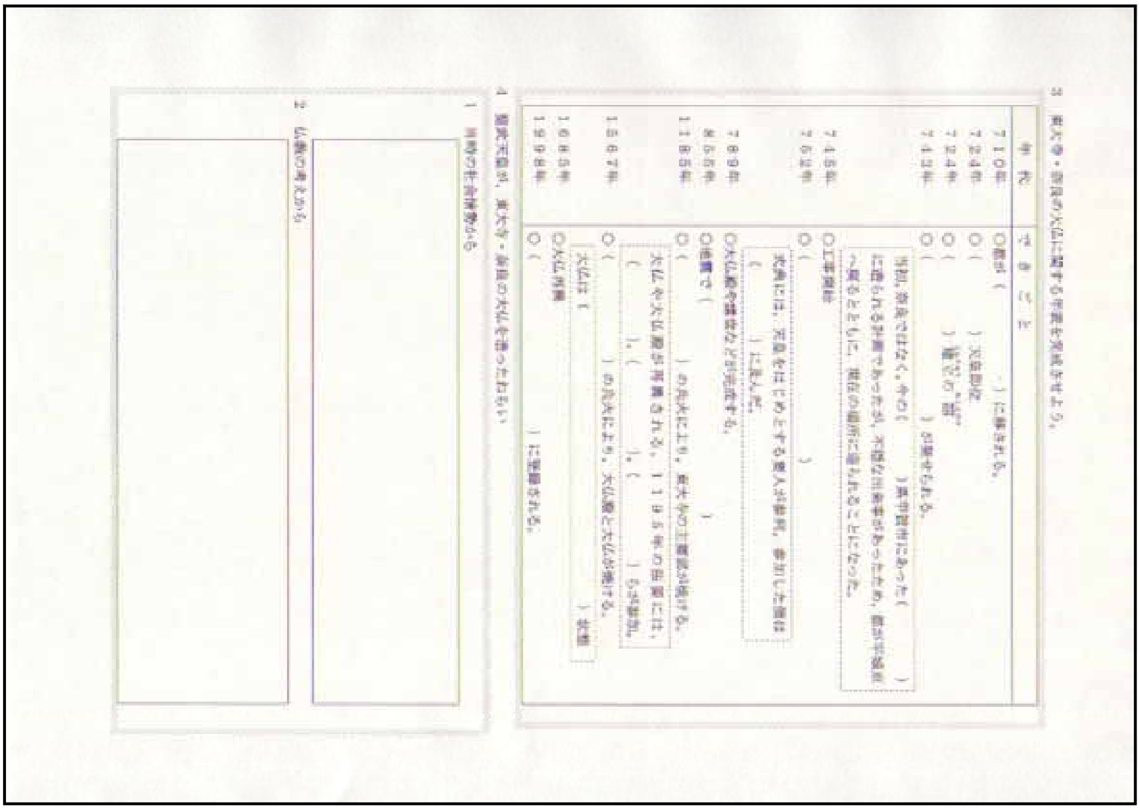
◎大きさ　・・・・高さ約（　　　）メートル、重さ約（　　　）トン

①（　　　）メートル
②（　　　）メートル
③（　　　）メートル
④（　　　）メートル
⑤（　　　）メートル

2　東大寺の位置

※　日本地図に、東大寺がある奈良市を書き込もう。

※　平城京の地図に東大寺を書き込もう。



3　東大寺・奈良の大仏に関する年表を完成させよう。

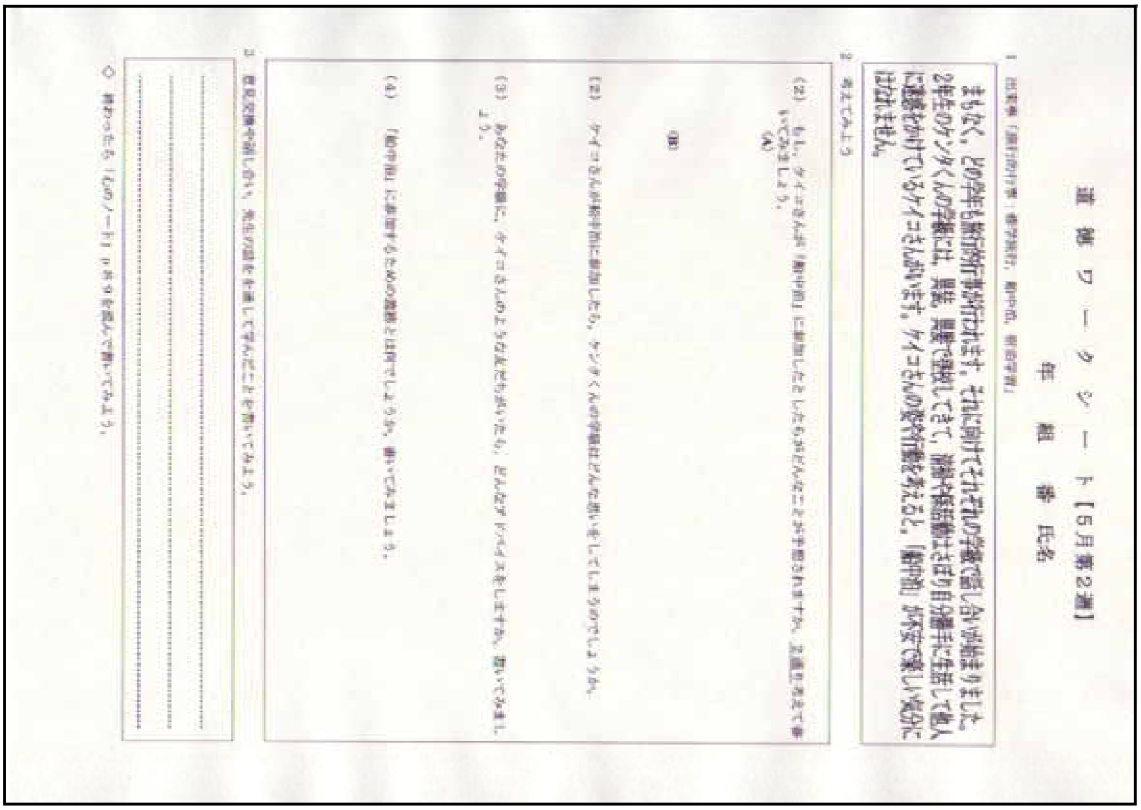
年　代	で　き　ご　と
７１０年	○都が（　　　）に移される。
７２４年	○（　　　）天皇即位
７２４年	○（　　　）建立の詔
７４３年	○（　　　）が発せられる。 当初、奈良ではなく、今の（　　　）県甲賀市にあった（　　　）に造られる計画であったが、不穏な出来事があったため、都が平城京へ戻るとともに、現在の場所に造られることになった。
７４５年	○工事開始
７５２年	○（　　　） 式典には、天皇をはじめとする要人が参列、参加した僧は（　　　）に及んだ。
７８９年	○大仏殿や諸堂などが完成する。
８５５年	○地震で（　　　）
１１８５年	○（　　　）の兵火により、東大寺の主要部が焼ける。 大仏や大仏殿が再興される。１１９５年の落慶には、（　　　）、（　　　）、（　　　）らが参加。
１５６７年	○（　　　）の兵火により、大仏殿と大仏が焼ける。 大仏は（　　　）状態
１６８５年	○大仏再興
１９９８年	○（　　　）に登録される。

4　聖武天皇が、東大寺・奈良の大仏を造ったねらい

1　当時の社会情勢から

2　仏教の考えから

（資料５）



道徳ワークシート【5月第2週】
年　組　番　氏名

1

まもなく、どの学年も新行事が行われます。それに向けてそれぞれの学級で話し合いが始まりました。2年生のケンタくんの学級には、最近、見学で遅刻してきて、自分勝手に生活して他人に迷惑をかけているケイコさんがいます。ケイコさんの普段の行動を考えると、「林間学校」が不安で楽しい気分にはなれません。

2 考えてみよう

(1) もし、ケイコさんが「林間学校」に参加したとしたらどんなことが予想されますか。立場を考えて書いてみましょう。

(A)

(B)

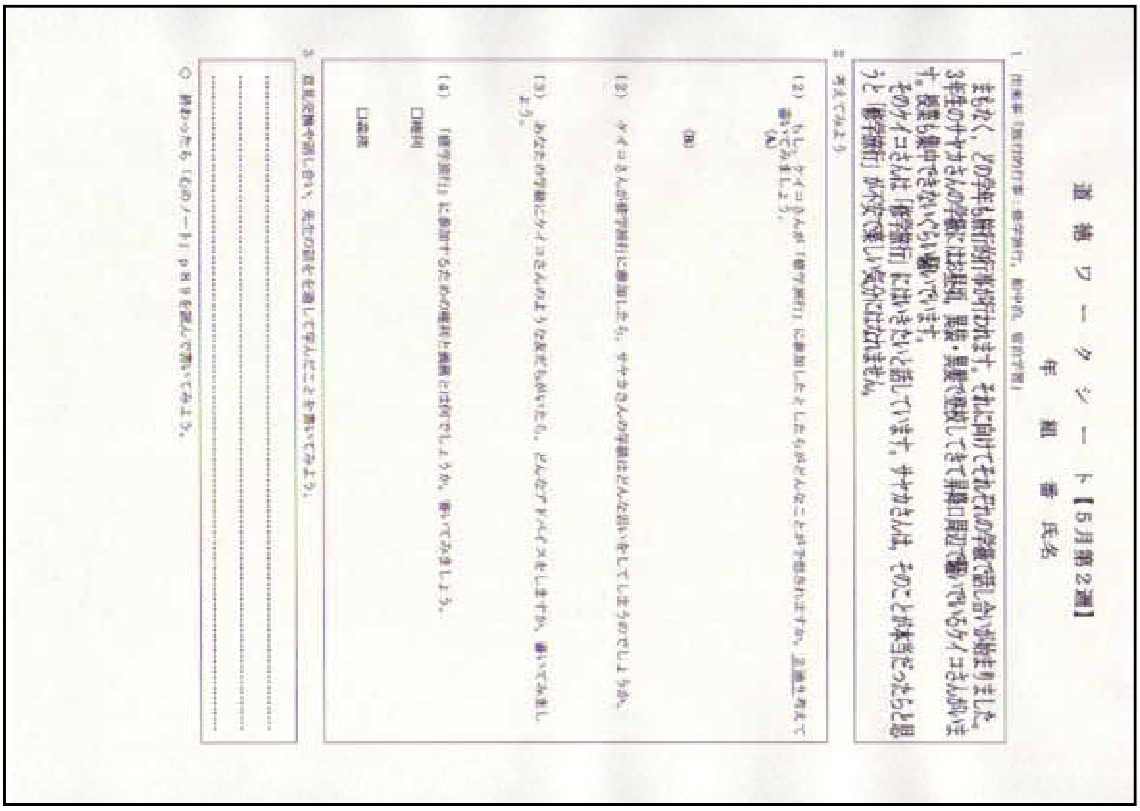
(2) ケイコさんが林間学校に参加したら、ケンタくんの学級はどんな思いをしてしまうのでしょうか。

(3) あなたの学級に、ケイコさんのような友だちがいたら、どんなアドバイスをしますか。書いてみましょう。

(4) 「林間学校」に参加するための意義とは何でしょうか。書いてみましょう。

3 意見交換や話し合い、先生の話を通して学んだことを書いてみよう。

◇ 終わったら「心のノート」p.○○を読んで書いてみよう。



道徳ワークシート【5月第2週】
年　組　番　氏名

1

まもなく、どの学年も新行事が行われます。それに向けてそれぞれの学級で話し合いが始まりました。3年生のサヤカさんの学級には最近、遅刻して登校してきて昇降口周辺で騒いでいるケイコさんがいます。授業も集中できないぐらい騒いでいます。そのケイコさんは「修学旅行」には行きたいと話しています。サヤカさんは、そのことが本当だったらと思うと「修学旅行」が不安で楽しい気分にはなれません。

2 考えてみよう

(1) もし、ケイコさんが「修学旅行」に参加したとしたらどんなことが予想されますか。立場を考えて書いてみましょう。

(A)

(B)

(2) ケイコさんが修学旅行に参加したら、サヤカさんの学級はどんな思いをしてしまうのでしょうか。

(3) あなたの学級にケイコさんのような友だちがいたら、どんなアドバイスをしますか。書いてみましょう。

(4) 「修学旅行」に参加するための権利と義務とは何でしょうか。書いてみましょう。

□権利

□義務

3 意見交換や話し合い、先生の話を通して学んだことを書いてみよう。

◇ 終わったら「心のノート」p.○○を読んで書いてみよう。

（資料６）

修学旅行で何を学ぶか
何を身につけるか？

1　修学旅行の大切なねらいは２つ
（1）実行（助け合う，協力する，話し合う，責任を果たす）を通して，学級の団結を強くする。
（2）奈良・京都の歴史的遺産を，直接見聞する。

2　予想される事故と対応
（1）なぜ事件を起こす，起こる。

- うれしいので，こころがおいあがってしまう。
- みんなといっしょなのできぶんがおおきくなってしまう。
- 気をとられてしまう，不安になる。

事例１　迷子になった，遅刻した。

（1）どうすればいい
- 担任へ連絡する。（職員など）。
- 交番で相談する，近くの家お店で聞く。
- タクシーを拾い，次の集合地点へ送ってもらう。

（2）やってはいけないこと
- 班から外れない。（班長を中心に）
- 自分勝手に行動しない。
- お互いに声をかけ合い，確認をし合う。

事例２　ものを壊してしまった
- 奈良・京都の見学地（国宝級の建物，備品など）
- 旅館・レストラン（案内備品など）

（1）どうすればいい
- 慎重に行動する。
- 担任へ連絡・相談をする。
- 謝罪する。
- 弁償をする。

（2）やってはいけないこと
- 知らないふりをする，逃げる。
- 誰かの せいにする。

事例３　事件を起こす，事故・事件に巻き込まれる（生命の危険・負傷）
- 一般人とのトラブル，他校生とのトラブル，交通事故，災害

（1）どうすればいい
- 慎重に行動する。
- 担任へ連絡相談する。（自分で解決しようとしない）
- 班でまとまって活動する。（一人にならない）

（2）やってはいけないこと
- まわりの迷惑や誤解を受ける言動をする。
- 他人へ気安く声をかける。（ちょっかいを出す）
- 無責任な言動をする。

事例４　ありがちな言動
- 集団心理　気が大きくなる，興奮する，格好つける，足栄を張る
- 一人では出来ないけど
- まわりが見えなくなる，気をとられてしまう。

3　大切にしたいこと
- 集団で行動していること（１８０人で動く）みんなで作り上げる
- 費用がかかっている（６万円以上，１日約２万円）
- 仲よく団結することがねらいである。（先生と生徒，生徒同士）
- いろいろみなんのおかげで行事がなりたっている。（両親，家族，先生，旅行業者，その他）

（資料７）

平成１９年度　第２学年

修学旅行に向けて　速報版　No.1　1/28(月)

1　はじめに

◇　先週の修学旅行の下見では、大変お世話になりました。１日目は嵯峨嵐山の下見、京都市内東部方面を徒歩で回ってきました。２日目は奈良の東大寺を見学しました。

修学旅行は新年度５／１８（日）～２０（火）ですのでまだまだと感じますが、ねらいは「学級の団結」を図ることです。そのときだけ、その場だけ良くてもねらいである「学級団結」は図れません。「学級団結」は、毎日の生活や学習を通して深められるもので、「権利と義務」を果たすことで学級の一員として認められていきます。

そして、修学旅行に参加する権利を与えられるのであります、そのことを、毎日の生活のなかで生徒たちに感じて意識させて実践していくことで修学旅行のねらいを達成していきましょう。

2　下見について

①　宿泊施設

集合場　京都市中京区御池通烏丸東入ル　大丸百貨店近く　（地図参照）

部屋割り　　１クラス男女３部屋ずつ（１部屋５，６人）で利用

※　１クラスは２部屋（１部屋１０～１２人）

②　雪が降るなか、京都市内東山方面を徒歩で回ってきました。（午後１：４５～４：３０まで）

集合場	～	八坂神社	～	知恩院	～	平安神宮	～	南禅寺	～	清水寺
		20分		20分		20分		10分		40分

□　どの見学場所も２０分ぐらいあれば見学地に行けます。また、周り方やバスや電車を使えばもっと違う計画が立てられるでしょう。

□　買い物や飲食についても、どの見学地、道路沿いにあります。（生徒が好むかどうかは別にして）

場所によっては、湯豆腐やうどん、懐石など１０００円以上する店しかありません。

（知恩院、平安神宮、南禅寺周辺）

このような機会ですから、思い切って、京都の名物料理も良いのでは。マクドナルドやラーメンで済ますより良いと思います。

③　東大寺、奈良公園

□　空いていましたので、ゆっくり大仏を見てきました。奈良公園は鹿がたくさんいました。

春日大社や二月、三月堂などは見ませんでした。暗くて開けませんでした。

平成２０年度　第３学年

修学旅行に向けて　速報版　No.2　4/2 (水)

1　今後の予定（別紙参照）

◇　修学旅行のねらいは何と言っても「学級団結」を図ることです。その団結は、当日の活動だけでなく、事前の話し合い活動や準備を通して深められていくものです。また、約束事や決まり事を確実に守ることは、学級の規範意識を高めることにつながります。また、今年度も学年一斉の時間はなかなかとれない状況であるため、学活の時間やその他（自分の教科時間を学活に振り替えるなどして）を利用して学級ですすめることが多くなると考えています。

2　係一覧

係名	事前の活動	旅行中の活動	担当者	生徒
総務・渉外	・日程計画 ・渉外関係 ・保護者への連絡 ・参加申込み等の把握	・全体計画 ・渉外	飯野先生 藤井先生	
実行委員会	・全体計画 ・スローガン、約束等の決定 ・集会活動の計画、運営 ・しおり作成	・実行委員、係代表生徒の掌握及び指導 ・出発式、学級団結式の運営	◎大森先生 飯野先生	実行委員長 副委員長
部屋長（班長）	・部屋長指導 ・部屋の掌握 ・部屋の連絡	・部屋の指導、連絡、伝達 ・整列指導、人員確認等 ・学級団結に向けて動くときの班長	渡辺先生	
写真・記録	・カメラ、ビデオの準備 ・フォトコンテストの計画 ・原稿、作文指導	・旅行中の写真及びビデオ撮影による記録 ・しおりの活用指導 ・フォトコンテストの選定、表彰	◎宮本先生 栗原先生	
保健・入浴	・事前の健康調査 ・係員への連絡及び指示 ・入浴のマナー指導	・生徒の健康状態の把握（保健調査と保護者情報） ・保健衛生指導 ・救急看護	◎芦谷敏先生 吉藤先生	
美化・衛具	・美化清掃の計画、指導 ・係員への連絡及び指示	・荷見の準備、後片づけの指導 ・宿舎内での清掃指導	芦谷智先生	
食事	・食事のマナー指導 ・係員への連絡及び指示	・食事及び食堂の指導 ・弁当や飲み物配布指導	大津先生	
会計	・積立金の整理 ・未納金の集金事務	・諸費の支払い ・決算報告書の作成	飯野先生 藤井先生	

（資料８）

（資料９）

（資料１０）